

写真甲子園2015 浦添工業高等学校写真部 全国制覇！

北海道東川町で開催された第19回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2015」で浦添工業高等学校が3年ぶり2度目の優勝となり、全国応募校数514校の頂点に立ちました。今回、見事全国制覇を遂げた宮平 愛美さん（デザイン科）、普天間 皐月さん（調理科）、佐和田 星さん（デザイン科）の3人にインタビューを行いました。

Q 全国大会優勝の感想をお願いします

今までの練習で家族、監督など色々な人に支えてもらいました。そのおかげで頑張ることができ、優勝旗を持ち帰ることができたので、とても嬉しいですね。

Q 写真を撮る際に気を付けたことは何ですか？

人物の写真を撮ることが多いので、お話をたくさんして、リラックスした表情を撮れるように心がけました。



▲優勝旗を手に笑顔の宮平 愛美さん(左) 普天間 皐月さん(中央)、佐和田 星さん(右)

Q 部活動ではどのような練習をしてきましたか？

大会本番の模擬練習をしてきました。本番では2時間で撮影を行い、1時間50分での写真を使うかセレクトしなければいけません。たくさん写真の中からセレクトするのは大変でした。

Q 今後の目標について

後輩たちにも、まずは九州・沖縄ブロック代表に選ばれて、全国大会本戦に出場してほしいです。そして優勝して、優勝旗を持ち帰ってもらいたいです。

神森小学校男子ハンドボール部 11年ぶり4度目の全国制覇！！

ハンドボールの第28回全国小学生大会決勝戦が8月2日に京都府田辺中央体育館で行われ、男子決勝で神森小ハンドボール部が東海HBS（愛知県）を28-15で破り、11年ぶり4度目の全国制覇を果たしました。今回、神森小学校男子ハンドボール部を代表して、主将の伊禮颯雅くんがインタビューを行いました。

Q 優勝しての感想

全国優勝という目標が達成出来てうれしいです。ハンドボールが強いだけのチームと言われないように、挨拶など基本的なこともしっかりとやっていきます。

Q 練習で工夫していること

試合で使うプレイを想定してディフェンス練習などしています。みんな練習は一生懸命真面目に取り組んでいます。



▲神森小学校男子・女子ハンドボールチーム

Q ハンドボールから学んだこと

試合でシュートを打っていないチームメイトにパスしてシュートを打たせたり、練習でもチームメイトに気遣いができるようになりました。思いやりの気持ちがついてきました。

Q 今後の目標

12月に九州大会があるので、全国制覇に引き続き九州制覇もできるように一戦一戦集中して戦っていきたいです。

文化の秋・スポーツの秋 浦添市で活躍する子どもたち

浦添市では、浦添工業高等学校写真部の写真甲子園 2015 全国制覇や、神森小学校男子ハンドボール部の全国制覇など、子どもたちが活躍しています！今回、浦添市で活躍する子どもたちにスポットをあて、紹介します！

〈問い合わせ〉国際交流課（内線2613・2614）

浦添中学校 相撲部 県勢初の全国制覇！



▲主将の當眞闘斗くん

8月22日・23日に青森県で、全国中学校相撲大会が開催されました。相撲団体の決勝戦で浦添中学校（仲里隆治くん、當眞闘斗くん、城間瑠正くん）が犀生中学校（石川晃）を2-1で下し、見事に県勢初の全国制覇を果たしました。今回、主将の當眞闘斗くんにインタビューを行いました。

Q 優勝しての感想

目標だった全国制覇をチームで取れたことはとても嬉しく思います。監督、保護者の支えが大きく、みんなで取った優勝だと思います。

Q 勝つために工夫したこと

まずは、チームワークを築くことから始めました。練習後一緒に風呂に入っ



▲相撲部の練習の様子

Q 今後の目標

高校でも相撲を続け、まだ個人で優勝を取ってないので取りたいです。高校は県外に行くかもしれないので、活躍して胸を張って沖縄に戻ってきたいです。また、将来は朝青龍のようなパワフルで技のある力士になりたいです。

国際的に活動したいと意気込む 上江洲まりのさん(高校2年生)



▲沖縄と世界の架け橋になりたいと語る上江洲まりのさん。

浦添市牧港在住の上江洲まりのさん（沖縄カトリック高校2年生）は、昨年度の短期留学のグローバルリーダーに合格し夏休み1ヶ月テキサス州ヒューストン大学で研修を受け、さらに今年は、A・U主催の高校生外交官（全国40人）に選出され、夏休み1ヶ月ワシントンDCプリンスストン大学で研修を受けました。そのプログラムの面接試験の際は、「まちなと」の意味、舜天王的の紹介なども英語で面接官に伝え、浦添をアピールしました。

Q グローバルリーダーや高校生外交官に参加しようと思ったきっかけは

小さい頃から英語が好きで国際交流にも興味がありました。中学の時に、高円宮杯第65回全日本中学校英語弁論大会で沖縄県代表と

して全国大会に出場し、決勝まで進むことができました。また、先輩方からの話も聞いているうちに参加したいと思いました。

Q 今後、どのような人材になっていききたいか

色々なプログラムに参加し、視野が広がりました。世界で活躍でき、また、故郷の沖縄を大事にしていきたいので、世界と沖縄の架け橋になれるような人材になっていきたいです。

上江洲まりのさんから「同じように、夢に向かって頑張っている人たちに、色々チャレンジしてもらいたい。チャレンジすることで視野が広がり、今まで気づかなかった自分に気づくことがありました。是非とも自分の可能性にチャレンジしてもらいたいです。」と自分と同じように目標に向かって方へのメッセージをいただきました。

